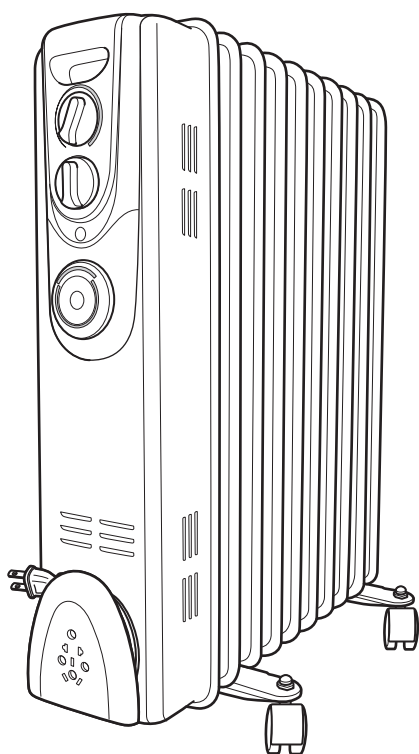


siroca

オイルヒーター

SOH-214

取扱説明書



このたびは siroca オイルヒーター SOH-214 をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この商品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。

お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

※ この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

お使いになる前に

安全上のご注意 2

各部のなまえ 4

お使いになる前の準備 6

使いかた 7

お手入れ／保管のしかた ... 9

仕様 10

故障かなと思ったら 11

部品・消耗品 14

アフターサービス 15

お客様相談窓口 15

保証書 16



「」愛用の手引き

安全上のご注意











必ずお守りください

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

●表示の説明

	警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
	注意 取り扱いを誤った場合、障害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

					禁止（してはいけない内容）を示します。
					強制（実行しなくてはならない内容）を示します。

警告



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または弊社サポートセンター
にご相談ください。



禁止

子どもだけで使わせたり、幼児の手の届く
ところで使わない
やけど・感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



禁止

スプレーなどの缶や薬品、油、紙類などを
本体の近くに置かない
爆発や火災の原因になります。



禁止

踏み台にしたり、腰をかけたり、寄りかかっ
たりしない
転倒して、けがの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を
中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・
感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、
損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭
いにおいがする
- ・本体が作動しない

など
上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグ
をコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または弊
社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。



使用時は、人から 1m 以上離して設置する
高温のため、やけどの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや
針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。

◆ 電源コード・電源プラグについて ◆



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの
差し込みがゆるいときは使わない
感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因
になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着
したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



定格 15A 以上・交流 100V のコンセントを
単独で使う
たこ足配線などで他の器具と併用すると、分岐コンセント
部が異常発熱して火災・感電・故障の原因になります。



禁止

使用中は電源コードを束ねない
熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原
因になります。電源コードはコードホルダーから解いて、お使
いください。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するよう
なことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、
感電・ショート・火災の原因になります。

- 傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、
ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、コー
ドホルダーに強く巻きつける



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持
たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコン
セントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。



使用中は、電源コードが本体に触れないよ
うにする

熱で電源コードが傷み、ショート・感電の原因になります。



延長コードは絶対に使わない

壁のコンセントは 2 口、3 口であっても、本製品をお使
いの際は単独でお使いください。コンセントや電源プ
ラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。

警告

◆ 設置に関する注意事項 ◆



不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。

毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂など



カーテン・ふとんなどの可燃物の近くで使わない

火災の原因になります。



本体の上に物を載せたり、本体の下に物を置いて使わない

高温により本体や物が変形、変質し、火災の原因になります。



仰向け、横倒し、逆さまにしない

変形・故障・発火の原因になります。



水ぬれ禁止

屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所や湿気の多い場所では使わない
ショート・感電の原因になります。



ヒーターの移動は必ず本体が冷めてから行う
高温のため、やけどの原因になります。本体が冷めてから、取っ手を持って移動してください。



禁止

テーブルや机の下で使わない

本体の上部をふさぐと、火災・やけどの原因になります。また、ヒーターの熱でコンセントや電源コード・電源プラグが変形、変質し、火災の原因になります。



禁止

衣類・タオル・ふとん・カバーなどで本体を覆わない

火災の原因になります。衣類やタオルの温めには、付属のタオルハンガーをお使いください。

注意

◆ 使用上の注意事項 ◆



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、本体に触れない

高温のため、やけどの原因になります。



禁止

壁や家具などの近くで使わない、壁に押しつけない

熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。壁や家具などから30cm以上離して、設置してください。



禁止

犬や猫などのペットの暖房用には使わない
ペットが本体や電源コードを傷つけ、火災の原因になります。



禁止

加湿タンクに水以外の物を入れない

ガソリン・灯油・40℃以上のお湯・化学薬品・汚れた水などは入れないでください。事故・故障・けが・汚れの原因になります。



禁止

長時間皮膚の同じ箇所を暖めない

低温でも長時間皮膚の同じ箇所を暖めていると、低温やけどの原因になります。



使用中は本体から離れない

火災の原因になります。



プラグを抜く

使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



キャスターを、必ず本体底面の両端に取りつけて使う

転倒によるけが、過熱による発火の原因になります。



お手入れは本体が冷めてから行う

高温部に触れると、やけどの原因になります。使用後は、本体が冷めるまで約30分かかります。



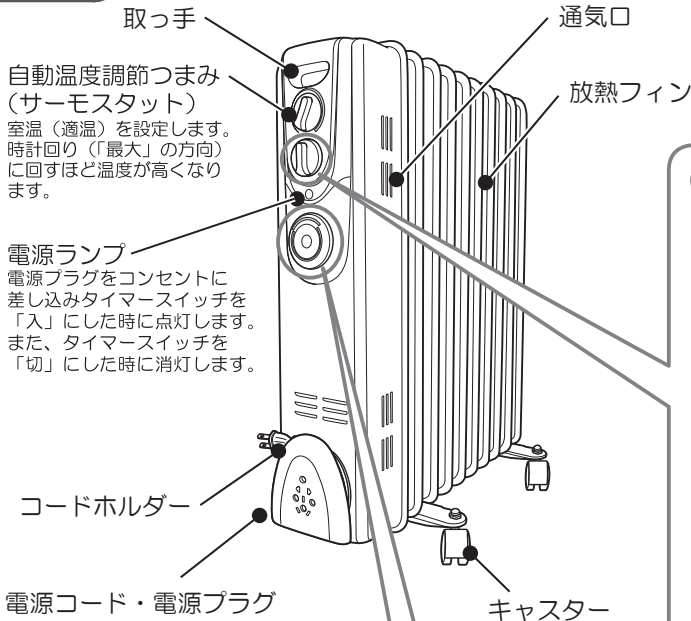
加湿タンクを使わないときは水を捨てる

加湿タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。お手入れをせずにお使いになると、水アカやミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発生したり、健康を害する原因になります。

各部のなまえ

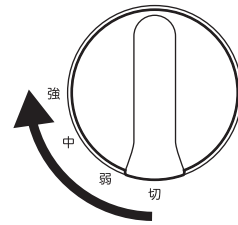
- オイルヒーターは、クリーン暖房の代表格です。内部のオイルを電気ヒーターで温め、放熱フィンの熱により室内の空気を循環させます。燃烧式の暖房器具とは異なり、臭いや煙、音を出さないのが特徴です。オイルの補充・交換や換気の必要もありません。
- エアコンやファンヒーターのように風を出さないで、ほこりなどを巻き上げることがなく、空気を汚しません。

本体



電力切り替えつまみ

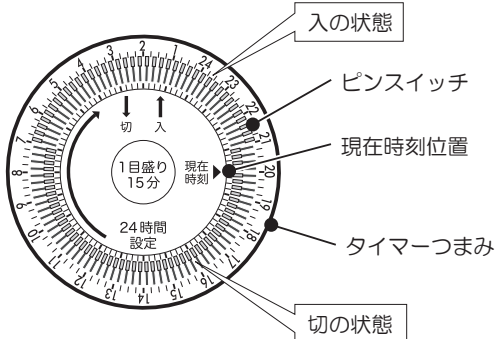
電力を3段階に切り替えることができます。



位置	状態
切	電源切
弱	600W
中	800W
強	1400W

タイマー

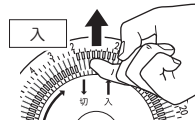
暖房の運転 (入) と停止 (切) 時間を、15分単位で設定することができます。一度設定すれば、毎日同じ時間帯に暖房運転をすることができます。



※ 図は、「現在時刻が20時、午後21時から午前7時の間に暖房運転をする場合」のタイマー設定です。

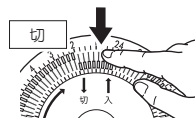
タイマーを入にする

赤いピンスイッチを外側にスライドさせます。



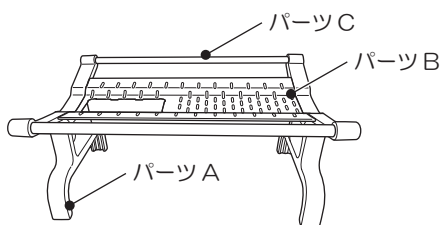
タイマーを切にする

赤いピンスイッチを内側にスライドさせます。



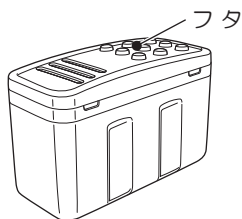
付属品

タオルハンガー



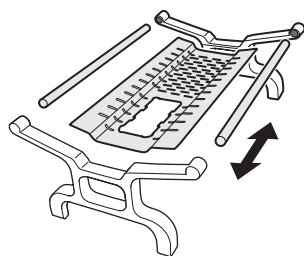
加湿タンク

フタを外して、水を入れてお使いください。

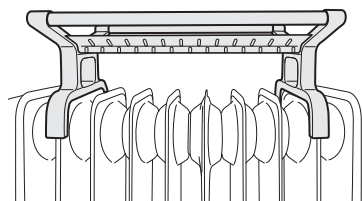


取り付けかた

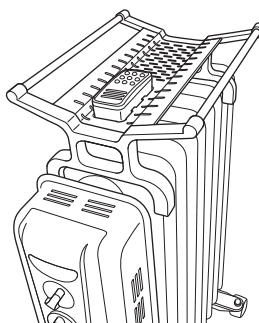
① パーツ A の内側の穴または溝に、パーツ B とパーツ C を差し込んで組み立てる



② 組み立てたタオルハンガーの下部の溝に、フィンをはめ込んで取りつける



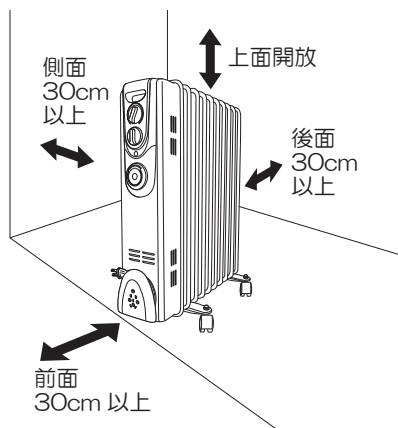
③ パーツ B の上に加湿タンクを取りつける



各部のなまえ

設置場所について

オイルヒーターは壁や家具などの周囲の可燃物から下図の距離を離して、設置してください。



過熱防止装置の働き

この製品には、過熱防止装置がついており、本体や周囲が過熱すると、自動的に電源が切れるようになっています。電源が入らなくなったときは、サポートセンター（03-5413-6125）までお問い合わせください。

転倒時自動電源遮断装置の働き

この製品には、転倒時自動電源遮断装置がついており、運転中に本体が倒れたり、傾いたりすると、自動的に運転が停止します。運転を再開する場合は、電源を入れ直してください。

お使いになる前の準備

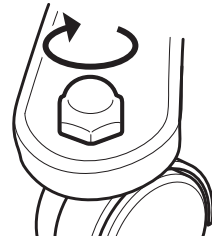
キャスターを取りつける

1
車輪から六角ボルトを取りはずす



2
キャスター台に、車輪を六角ボルトでしっかりと固定する

- 車輪がはずれないように、六角ボルトはしっかりと締めてください。
- 六角ボルトの締めつけには、市販の13mm用のスパナをお使いください。

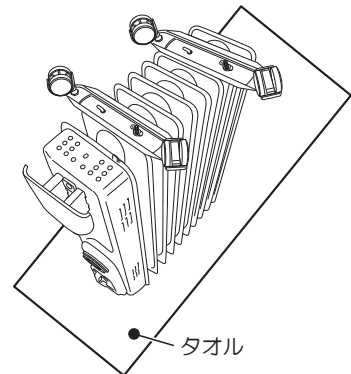
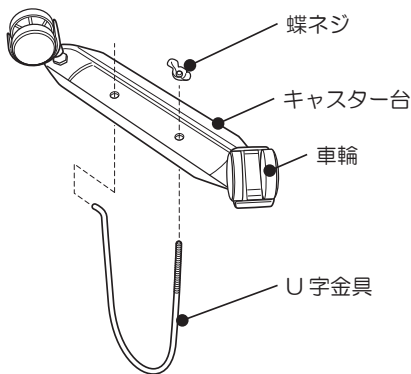


3
タオルなどの柔らかいものを敷いて、その上に本体を仰向けに置く

- 床に本体を直接置くと、床に傷が付く原因になります。
- ※ 本体が倒れないように、片手でしっかりと支えてください。
- ※ 本体を仰向けにすると、本体内部のオイルが流れる音がします。

4
U字金具をフィンとフィンの間にくぐらせ、キャスター台を蝶ネジで固定する

- 蝶ネジは手で締めてください。



- ※ 蝶ネジの締め過ぎに注意してください。本体に傷が付く原因になります。
- U字金具が上手くキャスター台の穴に入らない場合は、U字金具を少し広げてください。
- キャスターの取りはずしは、取りつけとは逆の手順で行ってください。

使いかた

運転を開始する

1 電源プラグをコンセントに差し込む

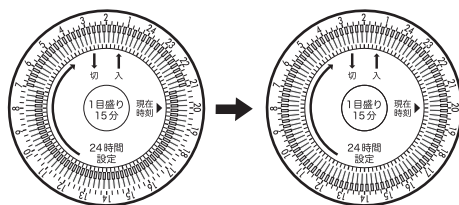
- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグを入れる前に、自動温度調節つまみが「最小」、電力切り替えつまみが「切」の位置になっていることを確認してください。



※ 電源コードはコードホルダーから解いて、お使いください。
また、使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。

2 連続運転する場合は、タイマーの赤いピンスイッチをすべて外側にスライドさせる

- 電源ランプが点灯します。
- ※ タイマーを設定する場合は、8ページの「タイマーを予約する」を参照してください。



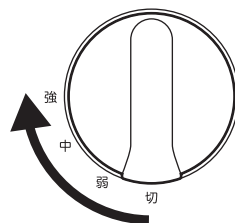
3 自動温度調節つまみを時計回り（「最大」の方向）に回して、「最大」に合わせる



4 電力切り替えつまみをお好みの設定に合わせる

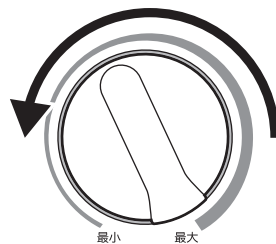
- 弱 … 600W
- 中 … 800W
- 強 … 1400W

- 電力切り替えつまみを「弱」～「強」に合わせると、暖房運転が開始します。



5 室内が適温になったら、自動温度調節つまみをゆっくりと反時計回り（「最小」の方向）に回し、「カチッ」と音がするところで止める

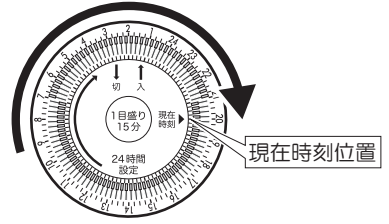
- これで適温が設定され、あとは自動的に電源がついたり消えたりを繰り返し、室温を一定に保ちます。
- 室温を上げたいときは、自動温度調節つまみを時計回り（「最大」の方向）に回し、下げたいときは反時計回り（「最小」の方向）に回して調節してください。



タイマーを予約する

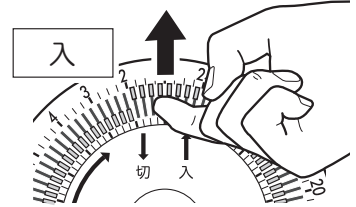
1 タイマーつまみを時計回りに回して、現在時刻（つまみの時刻目盛）を▶（現在時刻位置）に合わせる

- 1目盛は 15分単位です。

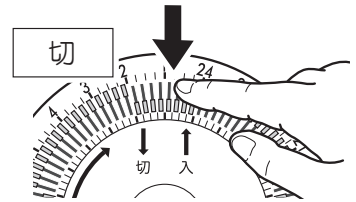


2 運転させたい時間帯の赤いピンスイッチを外側（入）にスライドさせる

- 連続運転をする場合は、ピンスイッチをすべて外側にスライドさせてください。
- タイマーは電源プラグをコンセントに差し込んだ時点から作動しますので、お使いにならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



3 運転させたくない時間帯の赤いピンスイッチを内側（切）にスライドさせる

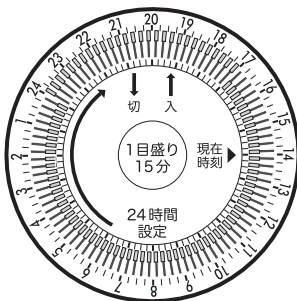


4 自動温度調節つまみと電力切り替えつまみをお好みの設定に合わせる

⇒自動温度調節つまみと電力切り替えつまみの設定については、7ページを参照してください。

- 自動温度調節つまみは、「最大」に設定します。
- 電力切り替えつまみは「弱」～「強」に設定しておかないと、設定した時刻になっても運転が開始しません。
- 現在時刻のピンスイッチが外側に設定されている場合は、暖房運転が開始します。現在時刻のピンスイッチが内側に設定されている場合は、暖房運転は開始せず、待期状態となります。

現在時刻が 14 時、午後 17 時から午後 24 時の間に暖房運転を設定する場合



運転を終了する

1
自動温度調節つまみを「最小」、電力切換つまみを「切」に合わせる

2
本体が冷めてから、電源プラグをコンセントから抜く

- 使用後は本体が冷めるまで約 30 分かかります。

お手入れ／保管のしかた



- ※ お手入れや保管は、電源を切って本体が冷めた後（約 30 分後）に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- ※ 本体およびリモコンを丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。故障の原因になります。
- ※ ベンジン・シンナー・アルコール・みがき粉は使わないでください。傷・変質・変色の原因になります。

お手入れする

本体・タオルハンガー

- 乾いた柔らかい布でふく。
- 汚れがひどい場合は、ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤をしみこませた布を固く絞ってふく。
- 本体や壁・床とのすき間に溜まったほこりは、掃除機で吸い取る。

加湿タンク

- 水洗いをして、柔らかい布で拭く。
- 加湿タンクの水は、毎日新しい水道水と入れ替えてください。お手入れをせずにお使いになると、水アカやミネラル分が付着したり、カビや雑菌が繁殖して、異臭を発したり、健康を害する原因になります。

保管する

- お手入れをした後、元の包装ケースに入れるか、ポリ袋をかぶせてほこりや湿気の少ないところで保管する。
※ 保管するときに、電源コードを本体に巻きつけないでください。電源コードが傷む原因になります。

仕様

品名 (型番)	siroca オイルヒーター (SOH-214)
サイズ (約)	幅 245 × 高さ 620 × 奥行 475mm (キャスター含む)
電圧	AC100V
周波数	50/60Hz
消費電力	1400W (弱 600W / 中 800W / 強 1400W)
重量 (約)	13kg
電源コード長さ (約)	1.6m
安全装置	転倒時自動電源遮断装置、過熱防止装置
付属品	キャスター台 (2)、車輪 (4)、U字金具 (2)、蝶ネジ (2)、タオルハンガー、加湿タンク
生産国	中国



この製品は、日本国内用に設計・販売しています。電源電圧や周波数の異なる国ではお使いになれません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

故障かなと思ったら

こんなときは故障ではありません。
修理を依頼する前に、ご確認ください。

こんなとき	原因	対策
運転しない。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	停電していませんか。	運転中に停電した場合は、本体の電源を切って、 電源プラグをコンセントから抜いてください。 停電復帰後に、再び電源を入れてください。
	本体が傾いていたり、不安定な場所に置かれていたりしませんか。	転倒時自動電源遮断装置が働き、運転が停止している場合があります。本体を平らな場所に置いて、お使いください。
	本体周囲の温度が高くなっていませんか。	過熱防止装置が働き、自動的に電源が切れている場合があります。電源が切れたときは、サポートセンター（03-5413-6125）までお問い合わせください。
	その時刻にタイマーが停止（切）に設定されていませんか。	タイマーの ▶（現在時刻位置）にあるピンスイッチを外側（入）にスライドさせます。
運転中にこげた臭いがする。	使いはじめたばかりではありませんか。	はじめてお使いになるときに、新製品特有のにおいがすることがありますが、故障ではありません。お使いになるうちに、気にならなくなります。
・タイマーが動作しない。 ・タイマーが途中で止まっている。	電源プラグが抜けていませんか。	電源プラグをコンセントから抜くと、タイマーが止まります。電源プラグをコンセントに確実に差し込み、タイマーを設定しなおしてください。
タイマーで設定した運転開始の時刻になっても、暖房運転が開始しない。	電力切り替えつまみが「切」に設定されていませんか。	電力切り替えつまみを「弱」～「強」に合わせてください。
	自動温度調節つまみの設定温度が低くありませんか。	自動温度調節つまみの設定温度が、室内の温度より低い場合は、自動的に暖房運転が停止します。設定温度を高くするには、自動温度調節つまみを時計回り（「最大」の方向）に回してください。
タイマーの設定時刻と、実際の時刻に誤差がある。	時刻が0分、15分、30分、45分以外のときに、タイマーの現在時刻を設定しませんでしたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマーの動作および時刻目盛は15分刻みのため、実際の時刻が0分／15分／30分／45分のときに、現在時刻を ▶（現在時刻位置）に合わせてください。 ・本製品のタイマーは正確な時刻を保証するものではないため、多少の誤差が生じる場合があります。予めご了承ください。

こんなとき	原因	対策
使用中、電源ランプ・電源コードが異常に熱くなる。	たこ足配線を使っていませんか。	たこ足配線の使用を中止してください。たこ足配線を使って他の器具と併用すると、分岐コンセントが異常発熱して、火災・感電・故障の原因になります。
	電源プラグが抜けかけていませんか。	電源プラグを根元までコンセントに確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。
	差し込み口が2口あるコンセントで、両方の差し込み口をお使いではありませんか。	コンセントの差し込み口が2口、3口であっても、本製品をお使いのときは単独でお使いください。
	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げていませんか。	電源コードの上に物を載せたり、無理に曲げないでください。電気の流れが悪くなり、ショート・発火の原因になります。
	電源コードをコードホルダーに巻いたり、束ねた状態で使っていませんか。	使用中は電源コードを束ねないでください。熱の逃げ場がなくなって電源コードが高温になり、発火の原因になります。
	電源プラグやコンセントに、ごみやほこりが付着していませんか。	定期的に、付着しているごみやほこりを拭き取ってください。
	コンセントがガタついたり、差し込みがゆるくありませんか。	お近くの電気店に、コンセントの修理を依頼してください。コンセントが老朽化している場合があります。
	電源プラグ・電源コードが傷ついたり、変形・破損していませんか。	サポートセンター(03-5413-6125)に、修理・交換を依頼してください。
部屋が暖まらない。 ※ 暖房する部屋の諸条件(断熱材や位置など)によって、暖まり具合は異なります。	自動温度調節つまみの設定温度が低くありませんか。	自動温度調節つまみの設定温度が、室内の温度より低い場合は、自動的に暖房運転が停止します。設定温度を高くするには、自動温度調節つまみを時計回り(「最大」の方向)に回してください。
	電力切り替えつまみが「弱」もしくは「中」に設定されていませんか。	電力切り替えつまみを「強」に合わせてください。
	ヒーターをドア(出入口)付近に設置していませんか。	ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア(出入口)から離れた場所に設置してください。また、窓の近くで発生する冷気の侵入を防止するには、窓の下付近に設置するのが効果的です。
	内部にあるオイルが、まだ温まっていない状態ではありませんか。	オイルが温まるまで約30分~1時間かかります。お使いになる前に、電源を入れておいてください。

こんなとき	理由
カチッカチッと音がする。	本体が温まる時、または温まった本体がサーモスタットの働きにより冷えにくいときに、外気との温度差によってフィンが膨張・収縮し、音が鳴ることがあります。故障ではありません。
パチッパチッと音がする。	本体が温まる時、または温まった本体がサーモスタットの働きにより冷えにくいときに、外気との温度差によってオイルが膨張・収縮し、音が鳴ることがあります。故障ではありません。

こんなときは故障の場合があります。不具合が解消しない場合は、サポートセンター（03-5413-6125）にご連絡ください。

こんなとき	原因	対策
内部のオイルが漏れ出している。	偶発的な不具合です。	<p>オイルは難燃性であり、発火に至ることはなく、また皮膚に触れても人体に重大な危険を生じさせるものではありませんが、万一オイルが漏れ出した場合は、次の手順にしたがってサポートセンター（03-5413-6125）までお問い合わせください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 自動温度調節つまみを「最小」に合わせ、電源プラグをコンセントから抜く 漏れ出したオイルをタオルなどで拭き取る ※ 必要に応じて、窓を開けて、換気を行ってください。 ※ オイルが皮膚に付着した場合は、ぬるま湯と石鹸で洗浄してください。 サポートセンター（03-5413-6125）に連絡する
暖房運転はするが、タイマーが動作しない。	タイマーが故障している可能性があります。	サポートセンター（03-5413-6125）に、修理・交換を依頼してください。

部品・消耗品

劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

部品名	部品コード
キャスターセット	SOH-214CS
タオルハンガー（加湿タンク付）	SOH-214HH

長年ご使用のオイルヒーターの点検を！

※ 定期的に「安全上のご注意」や「使いかた」を確認してお使いください。
誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
※ 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

愛情点検



こんな症状はありませんか？

- ・本体が異常に熱い
- ・コードや電源プラグが異常に熱い
- ・焦げ臭いにおいがする
- ・コードを動かすと、電源が入らないことがある
- ・その他の異常・故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検・修理をご依頼ください。
ご自分での修理は危険です。絶対に分解しないでください。

アフターサービス

保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはサポートセンターにお問い合わせください。

- 保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理
保証書の規定により、無料で修理いたします。商品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。
- 保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理
修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはサポートセンターまでご相談ください。

保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した商品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

補修用性能部品の最低保有期間

このオイルヒーターの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。その商品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といいます。

補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

お客様相談窓口

アフターサービスについてご不明な場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。

<p>〈サポートセンター〉</p> <p>TEL: 03-5413-6125 FAX: 03-5413-6128 E-mail でのお問い合わせ: info@aucsale.com 受付時間: 午前10時～午後5時 (土・日・祝祭日、年末年始および弊社指定休業日を除く)</p>	<p>〈修理センター〉</p> <p>〒343-0032 埼玉県越谷市袋山648-5 株式会社オークセール サポートグループ返品・修理センター</p>
---	---

サポートセンターからのお願い

- ・ 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- ・ サポートセンターおよび修理センターの電話番号/FAX番号、住所は予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

sirocaの最新情報はこちらでチェック!

